

# (株)稲本製作所 / 住商アイナックス(株) 会社・事業紹介

住友商事株式会社

(株)稲本製作所(本社:石川県白山市、代表者:取締役社長 佐々田和男、以下、「稲本」)の歴史は、1917年、北陸地方で盛んな医療や織機関係の部品などの製造を手掛ける小さな職人工場から始まった。1952年に当時日本で初めての業務用洗濯機を製造し独自の技術を磨いてきたが、1970年、住友商事を介した稲本と米国企業との技術提携を契機として、住友商事の経営参加を得て、今日に至っている。

稲本では業務用洗濯機類の中でも、特に大型機器の製造に特化しており、主機としての役割を担う「連続式洗濯機」、「脱水機」、「乾燥機」、「仕上げ機」等を製造している。業務用洗濯機の市場は、年間350億円程度だが、特にこれらの大型機器の販売では、約40%超と日本一のシェアを占めている。

業務用洗濯機と家庭用の洗濯機の「洗い」の原理は基本的に同じであり、業務用洗濯機も、予洗、本洗(消毒が必要な場合は、80℃のお湯で10分間洗う)、すすぎの3工程からなる。ただ、大きさが全く異なり、例えば最も大型の水洗脱水機は、高さ2.6m、幅2.5m、長さ18mにもなる。洗濯機だけを例に挙げても、蒸気機関車と見まがうような巨大な筒状の洗濯機から、小型洗濯機まで、多種多様な商品を取り扱っているが、稲本の強みはなんといっても省

エネと洗濯物の仕上がり品質の高さである。「洗い」の技術を極めた稲本ならではの、顧客から高い評価を得ている。

稲本製品の販売は、グループ会社である住商アイナックス(株)(本社:東京都品川区、代表者:取締役社長 佐々田和男、以下、「住商アイナックス」)が行っている。住商アイナックスは、稲本製品を含む業務用洗濯機工場全体のエンジニアリング、設備販売、施工、メンテナンスをトータルで行っており、稲本では作っていないドライクリーニング用機材も扱っている洗濯用機械の総合商社である。顧客は、大手のリネン業者を中心に、ホテル、総合病院、介護老人ホーム、各種工場およびクリーニング店など多岐にわたっているが、全国24拠点で24時間365日、片時も休まずに顧客の要望に応える体制を築いていることが、顧客に評価されている。

昨今、高齢化社会を迎えた日本では病院・医療制度、介護体制の整備・充実が、緊急の課題となっており、安全・清潔・衛生的といった価値観がますます高まっている。また、厚生労働省の指針によれば病院での感染症対策の強化が義務付けられ、また規則は厳格化の流れにある。一方、当社の顧客にとっては、工場全体の自動化・効率化や省エネルギー化とともに、従業員の職場環境の改善なども重要な課題の1つに挙がっている。

業界ナンバーワンの信頼と実績を有する洗いと衛生管理のエキスパートとして、稲本および住商アイナックスは、これらの問題に対して、省エネルギー新製品の開発や工場全体の効率化システムの提案およびメンテナンスなどに積極的に取り組み、顧客および社会に貢献していく。



連続式水洗機